

第5回南三陸応援ツアー

今回は11/8日から1泊2日で、総勢30名で、東北新幹線仙台経由で南三陸町へ行ってきました。山の高台へ移転した新しい「さんさん商店街」で名物タコ&キラキラ丼の昼食後、恒例の「慶應の森」へ植樹と散策の予定が、台風21,22号で山道が破壊されてしまった為、塾員で南三陸森林組合長の佐藤さんの所有の「荒島」視察に行きました。



旧防災対策庁舎

その後、ホテルで語り部さんと合流し、復興中の町の姿を見学し、震災当時のお話を聞いたり、旧防災対策庁舎では犠牲者にお花を手向け偲びました。



荒島と集合写真

また夜は賑やかな親睦会で大い盛り上がりました。

2日目は、予定では鳴子温泉郷へ行って紅葉を楽しむ予定でしたが、今年は紅葉が早く終わってしまった為、今が紅葉の見どころの日本三景松島の瑞巖寺と円通院へ行き、素晴らしい紅葉を堪能し、その後、秋保(あきう)温泉郷の大滝など見学し、新幹線で帰京し、全員何事もなく無事に楽しい旅が終わりました。



円通院集合写真



さんさん商店街 (タコ&キラキラ丼)

(文責) 小田伊津子

南三陸応援ツアーでの感想

震災の語り部、鴻巣さんのお話は印象深いものでした。チリ地震を参考に決めてあった避難場所の小学校の校長は、その指定を捨て、裏山の高台に逃げ、さらに直感でもう一段高い隣の神社に避難して多くの子供たちが助かったそうです。その後の調査によれば、同地方の神社34箇所のうち29箇所は海岸線の高台にあり、又その地名も入谷、船留など津波を連想させるものが多いとのことでした。つまり大昔から何度も大津波に襲われた先祖たちは、いざという時には近くの神社に避難せよ！と教えてくれていたのです。

結果的に歴史の教えに従った形の子供たちが助かり、さらにずっと高い位置にあった中学校に避

難した人たちが大勢亡くなった、というお話は大変強く心に残りました。翌朝ホテル「観洋」の露天風呂から見た真っ赤な「日の出」と共にいい思い出の旅ができました。幹事さん、ありがとうございました。

堀場勝英・政子